年間授業計画　新様式例

高等学校 令和５年度（２学年用） 教科　国語　科目　論理国語

教　科：　国語　　科　目：　論理国語　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　2 学年　1 組～　6 組

教科担当者：（1組：佐藤遼　）（2組：佐藤遼　）（3組：佐藤遼　）（4組：佐藤遼　）（5組：銘苅　）（　6組：銘苅　）

使用教科書：（　新編　論理国語（大修館書店）　）

教科　論理国語　の目標：

【 知　識　及　び　技　能 】実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】論理的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養う。また、自分の思いや考えを広げたり深めたりできるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】言葉がもつ価値への認識を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

科目　論理国語　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	論理的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養う。また、自分の思いや考えを広げたり深めたりできるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域 話・聞	書	読	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	単元　論理と出会う 「『論理』への第一歩」 【知識及び技能】 文や文章の効果的な組み立て方や接続のしかたについて理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、論理的な考え方や適切な文のつなぎ方を的確にとらえる。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に学習に取り組み、文や文章の組み立て方、接続のしかたについて理解を深める。	・指導項目 接続表現の重要性に着目させる。自分自身の答えに対して「論理的」に、根拠をふまえて解答する習慣づけをする。 ・教材 教科書、ワークシート ・ICTパソコンの活用			○	【知識及び技能】 文や文章の効果的な組み立て方や接続のしかたについて理解を深めている。 【思考・判断・表現】 「読むこと」において、論理的な考え方や適切な文のつなぎ方を的確にとらえている。 【主体的に学習に取り組む態度】 積極的に学習に取り組み、文や文章の組み立て方、接続のしかたについて理解を深めようとしている。	○	○	○	7
	「『論理的な人』とはどういう人か」 【知識及び技能】 語感を磨き語彙を豊かにする。 【思考・判断・表現】 「読むこと」において、文章の内容や構成、論理の展開などを的確にとらえ、要旨を把握する。 【主体的に学習に取り組む態度】 筆者の考えを読み取ることに興味をもち、論理的に考える力を伸ばす。	・指導項目 「論理」とは何か、「論理的な人」とはどのような人か、筆者の主張をもとに考察させる。 ・教材 教科書、ワークシート ・ICTパソコンの活用			○	【知識及び技能】 語感を磨き語彙を豊かにしている。 【思考・判断・表現】 「読むこと」において、文章の内容や構成、論理の展開などを的確にとらえ、要旨を把握している。 【主体的に学習に取り組む態度】 筆者の考えを読み取ることに興味をもち、論理的に考える力を伸ばそうとしている。	○	○	○	8
	定期考査						○	○		1
	単元　具体と抽象 「具体と抽象の関係」 【知識及び技能】 具体と抽象の関係を示す語句や表現について理解する。 【思考・判断・表現】 「読むこと」において、具体と抽象の関係を適切に把握しながら、要旨をとらえる。 【主体的に学習に取り組む態度】 積極的に学習に取り組み、具体と抽象の関係について理解を深める。	・指導項目 具体と抽象の関係を視覚的に理解させる。具体と抽象を導く「接続表現」に着目させる。 ・教材 教科書、ワークシート ・ICTパソコンの活用			○	【知識及び技能】 具体と抽象の関係を示す語句や表現について理解し使っている。 【思考・判断・表現】 「読むこと」において、具体と抽象の関係を適切に把握しながら、要旨をとらえている。 【主体的に学習に取り組む態度】 積極的に学習に取り組み、具体と抽象の関係について理解を深めようとしている。	○	○	○	8
	「例題　突然変異と進化の関係」 【知識及び技能】 情報を重要度や抽象度などによって階層化して整理する方法について理解を深める。 【思考・判断・表現】 「読むこと」において、具体と抽象の関係に注目し、内容や構成、論理の展開など的確にとらえ、要旨や要点を把握する。 【主体的に学習に取り組む態度】 具体と抽象の関係を的確にとらえながら、筆者の主張を読み取る。	・指導項目 抽象と具体とがどのように関係しているか、具体例の役割や効果について理解させる。具体と抽象を行き来する力を養う。 ・教材 教科書、ワークシート ・ICTパソコンの活用			○	【知識及び技能】 情報を重要度や抽象度などによって階層化して整理する方法について理解を深めている。 【思考・判断・表現】 「読むこと」において、具体と抽象の関係に注目し、内容や構成、論理の展開など的確にとらえ、要旨や要点を把握している。 【主体的に学習に取り組む態度】 具体と抽象の関係を的確にとらえながら、筆者の主張を読み取ろうとしている。	○	○	○	7
	定期考査						○	○		1

2学期	単元　対比をとらえる 「対比を使って主張する」 【知識及び技能】 対比を示す語句や接続表現を説明したり、主張の根拠を示すために適切に用いる。 【思考・判断・表現】 「書くこと」において、物事の説明や主張を支える根拠として対比関係を用い、適切に表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 積極的に学習に取り組み、対比の関係について理解を深める。	・指導項目 全単元で学んだ「具体と抽象」の知識を活用させる。効果的な対比の用い方について、理解を深めさせる。 ・教材 教科書、ワークシート ・ICTパソコンの活用		○		【知識及び技能】 対比を示す語句や接続表現を説明したり、主張の根拠を示すために適切に用いている。 【思考・判断・表現】 「書くこと」において、物事の説明や主張を支える根拠として対比関係を用い、適切に表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 積極的に学習に取り組み、対比の関係について理解を深めようとしている。	○	○	○	6
	「対話の精神」 【知識及び技能】 対比を示す語句、接続表現に注目しながら文章を読む。 【思考・判断・表現】 「読むこと」において、対比の関係に注目し、内容や構成、論理の展開などを的確にとらえ、論点を明確しながら要旨や要点を把握する。 【主体的に学習に取り組む態度】 学習課題等にそって、具体や抽象、対比の関係をとらえる。	・指導項目 対比の役割を意識させ、筆者の主張を読み取らせる。テーマを設定し、生徒間で実際に「対話」をさせる。 ・教材 教科書、ワークシート ・ICTパソコンの活用	○			【知識及び技能】 対比を示す語句、接続表現に注目しながら文章を読み、対比関係や論理展開をとらえる助けとしている。 【思考・判断・表現】 「読むこと」において、対比の関係に注目し、内容や構成、論理の展開などを的確にとらえ、論点を明確しながら要旨や要点を把握している。 【主体的に学習に取り組む態度】 学習課題等にそって、具体や抽象、対比の関係をとらえようとしている。	○	○	○	7
	定期考査						○	○		1
	単元　主張をつかむ 「主張と根拠を考える」 【知識及び技能】 情報と情報との関係について理解を深める。 【思考・判断・表現】 「読むこと」において、論理の展開を的確にとらえ、主張と根拠の関係について、理解する。 【主体的に学習に取り組む態度】 積極的に学習に取り組み、主張と根拠の関係について理解を深める。	・指導項目 主張や根拠がくることが多い表現を確認させる。主張と根拠の関係について考えさせる。 ・教材 教科書、ワークシート ・ICTパソコンの活用			○	【知識及び技能】 主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深めている。 【思考・判断・表現】 「読むこと」において、論理の展開を的確にとらえ、主張と根拠の関係について、理解しようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 積極的に学習に取り組み、主張と根拠の関係について理解を深めようとしている。	○	○	○	7
	「『考える葦』であり続ける」 【知識及び技能】 主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深める。 【思考・判断・表現】 「読むこと」において、主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈する。 【主体的に学習に取り組む態度】 筆者の考えを読み取ることに興味をもち、主張を根拠の関係をとらえる。	・指導項目 筆者の主張と、それを支える根拠の役割を的確にとらえさせる。文章の構成や論理の展開に注目しながら、要旨を把握させる。 ・教材 教科書、ワークシート ・ICTパソコンの活用			○	【知識及び技能】 主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深めている。 【思考・判断・表現】 「読むこと」において、主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈している。 【主体的に学習に取り組む態度】 筆者の考えを読み取ることに興味をもち、主張を根拠の関係をとらえようとしている。	○	○	○	7
	定期考査						○	○		1
3学期	単元　論理的に書く 「根拠をふまえて主張を書こう」 【知識及び技能】 根拠を明確にしながら主張を論理的に書く方法や、主張と根拠を示す接続表現について理解を深める。 【思考・判断・表現】 「書くこと」において、自分の立場や論点を明確にして、主張を支える適切な根拠をそろえる。 【主体的に学習に取り組む態度】 小論文を書くことに興味をもち、適切な根拠を示しながら、自分の主張を展開する。	・指導項目 小論文と作文の違いを理解させる。接続表現を適切に使用し、根拠をふまえた文章を書く練習をする。 ・教材 教科書、ワークシート ・ICTパソコンの活用		○		【知識及び技能】 根拠を明確にしながら主張を論理的に書く方法や、主張と根拠を示す接続表現について理解を深めている。 【思考・判断・表現】 「書くこと」において、自分の立場や論点を明確にして、主張を支える適切な根拠をそろえている。 【主体的に学習に取り組む態度】 小論文を書くことに興味をもち、適切な根拠を示しながら、自分の主張を展開しようとしている。	○	○	○	7
	単元　統計資料を活用する 「若者の『海外旅行離れ』は本当か？」 【知識及び技能】 語感を磨き語彙を豊かにする。 【思考・判断・表現】 「読むこと」において、文章の種類をふまえて、資料との関係を把握し、内容や構成を的確にとらえる。 【主体的に学習に取り組む態度】 海外旅行離れについての筆者の考えを読み取ることに興味を持ち、文章と資料の関係をとらえる。	・指導項目 統計資料がなぜ用いられているか考えさせる。データのまとめ方により、主張が変化することを理解させる。 ・教材 教科書、ワークシート ・ICTパソコンの活用			○	【知識及び技能】 語感を磨き語彙を豊かにしている。 【思考・判断・表現】 「読むこと」において、文章の種類をふまえて、資料との関係を把握し、内容や構成を的確にとらえている。 【主体的に学習に取り組む態度】 海外旅行離れについての筆者の考えを読み取ることに興味を持ち、文章と資料の関係をとらえようとしている。	○	○	○	7
	定期考査						○	○		1
									合計 70	